

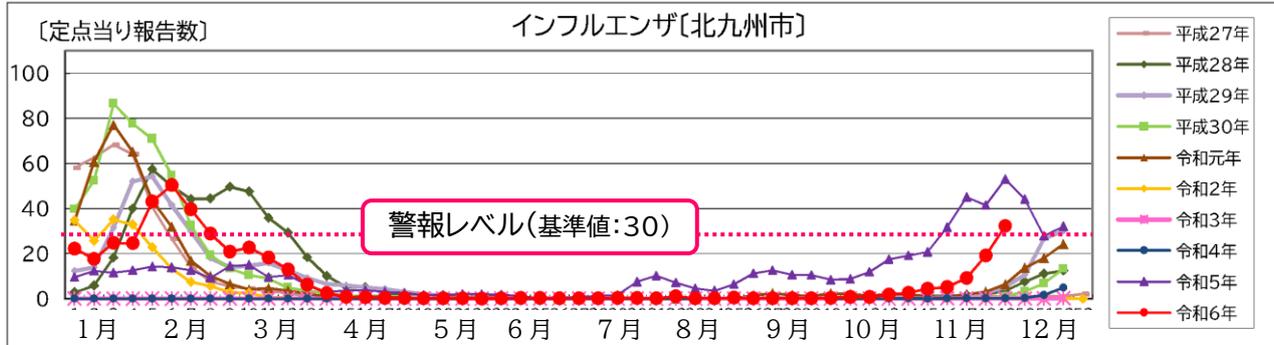
注意 情報

令和6年12月12日

《インフルエンザ患者数が警報レベルになりました！》

令和6年第49週(12月1日～12月8日)の定点医療機関あたりの患者報告数が、警報レベルの開始基準値である「30」を超えました。今後、インフルエンザの流行が続く可能性があります。

インフルエンザに「かからない」、かかっても他の人に「うつさないよう」心がけましょう。



インフルエンザ患者の定点あたりの報告数

	45週 11/4～11/10	46週 11/11～11/17	47週 11/18～11/24	48週 11/25～12/1	49週 12/2～12/8
北九州市	4.43	5.09	9.2	19.11 (注意報)	32.29 (警報)
福岡県	1.96	3.49	5.79	11.43	20.30
全国	1.06	1.88	2.36	4.86	集計中

※ 定点当たりの報告数とは、定点医療機関(北九州市では35医療機関)での1週間ごとの報告数を定点医療機関数で割った値です。

➤ 感染経路

飛沫感染



感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒に放出されたインフルエンザウイルスを口や鼻から吸いこみ感染

接触感染



インフルエンザウイルスが付着したドアノブ等を触れた手で、鼻や口、目などを触って感染

(イラスト出典:政府広報オンライン)

➤ 感染防止のポイント



湿度
(50～60%)
に保つ



体調を整える
適度な
運動



- 外出時は、なるべく人混みを避けましょう。
- 高齢者、基礎疾患のある方などは感染すると、重症化するリスクが高いため、大人数が集まったりするときは、マスクの着用など感染症対策の徹底をお願いします。